# やちよの昔話「ずるころぴょん」に学ぶ

八千代市村上に伝わる「ずるころぴょん」という昔話をご存知ですか。次のようなお話しです

《昔、毎月24日には飯綱神社の境内に市（いち）が立ちました。萱田市（かやだいち）と呼ばれ、たいへんな賑わいだったそうです。この評判を聞いた、ヘビとタマゴとゲエロ（蛙）は一度は行ってみたいと話し合い、一緒に萱田に行きました。評判通りの様子に驚きました。たっぷり遊んだ後、ゲエロが「そろそろカエロ」、タマゴは「タマタマ来たからもう少しいましょ」、ヘビは「ナガナガいたから帰ろ」と言って帰ることにしました。新川にかかる一本橋に、ヘビはズルズル、タマゴはコロコロ、ゲエロはピョンピョンと帰ってきました。》



紙芝居「ずるころぴょん」

「ずるころぴょん」を語ってくれた話者は、村上在住で大正11年(1922)の生まれでした。話者の子どものころ、萱田市に行くのが楽しみで、特にベエ（バイ貝）の串焼きが大好物だったそうです。

また、村上から萱田に向かう途中の新川には、大きな丸太棒の一本橋がかかっていたとのことです。昭和初期の頃のことでしょう。話者はまさに「ずるころぴょん」の世界を生きていたのです。このようにおとぎばなしの中で、身近な地名や祭りなどが出てくるものを「ドロバナシ(泥話）」と言います。「ズルズル、コロコロ、ピョーンピョン」と唱えながら、祖父母や両親が幼子を寝かしつけたのでしょう。言葉遊びやリズム感がこのお話しの眼目ですが、市域の歴史としても学ぶところがあります。


萱田市のにぎわい

**萱田市**　江戸中期に始まったとされます。大正期には、毎月24日と８月７日、12月16日の年14回開かれました。「ないものは無い」と言われるほど、様々なものが売られていたようです。現在は行われていません。飯綱神社の歴史の一頁を伝えています。

**一本橋**　現在の宮内橋が丸太一本橋だったということですが、新川の歴史の一端を示しています。かつての新川の流れは激しく蛇行していたようです。市域の江戸時代の村絵図には、蛇行する「古川」と直線的な「新川」が描かれているものがあります。市指定文化財の「天保七年米本村絵図」(1836年)にはなめらかな川筋と「新川」の文字が見えますので、この頃までに流路の改変が進んでいたということでしょう。

川幅は江戸時代から戦後まで大きな変化はなく、通常は一本橋で渡れるような細い川でした。


新川の一本橋

戦後、治水及び食糧難対策として印旛沼を干拓・水田化して米の増産を図り、さらに昭和30年代後半からは工業用水として印旛沼の水が必要とされ、水量を増やすため新川の掘削と拡幅が進められました。現在宮内橋付近の川幅は約70m（図上計測）あります。

八千代市文化伝承館だより

令和８年丙午 旧暦５月

継
Ｋｅｉ

2026．6．20 No. 28
編集
発行　八千代市文化伝承館

〒276-0043　八千代市萱田 460-3

電　話　047-484-9011(郷土博物館)
ＦＡＸ　047-482-9041(郷土博物館)
メール　kyoudo@city.yachiyo.chiba.jp

# 令和７年度事業報告

令和７年度、文化伝承館では主催事業として昨年度に引続き「重陽の節供におくる邦楽演奏会」、「紙芝居と昔話の会」、「八千代の民俗文化再発見」、「子ども邦楽教室」、「子ども日舞入門」「茶道教室」を実施しました。八千代市三曲協会、本だいすき!の会、昂寿朗会、八千代市茶道連盟の皆様のご協力のおかげです。ご協力いただいた皆様に御礼申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様にも深く感謝申し上げます。

**令和7年度の利用状況**

開館日数　258日
主催講座　36回828名　伝統文化団体の利用 296回2,869名　その他の団体の利用 136回2,042名　見学・遊具利用など 1,312名　計7,051名
紙芝居などの館外貸出　15件

**伝承館だより**　「継」27号の発行　８月２０日(水)

**令和7年度の文化伝承館の主なできごと**

４月16日(水)「紙芝居と昔話の会」第１回を実施。以下、５月21日、６月18日、９月17日、10月15日、11月19日、１月21日、２月18日、３月４日（いずれも水曜日）に実施。(全９回)
５月８日(木)　バンコク子ども親善大使、茶道体験
７月19日(土)「子ども邦楽教室」第１回を実施。以下、７月26日、８月２日・16日、９月６日・20日、10月18日、11月１日・８日、12月６日、１月10日、２月14日・28日、３月１日（３月１日は日曜日、他は土曜日）に実施（全14回）
７月26日(土)「子ども日舞入門」第１回を実施。以下、７月27日(日)、８月１日(金)・２日(土)・３日(日)に実施。（全５回）
10月26日(日)「重陽の節供におくる邦楽演奏会」実施。
２月15日(日)「茶道教室」第１回を実施。以下、２月22日、３月８日・15日・22日・28日（３月28日は土曜日、他は日曜日）に実施。（全６回）
３月21日(土)「八千代の民俗文化再発見～やちよのオビシャ」を実施。

**施設・物品の修繕**

屋外照明設備、男子トイレ小便器センサー、茶室エアコン改修など



子ども日舞入門




重陽の節供邦楽演奏会



茶道教室